

2 0 1 7 年 度

科 目 等 履 修 生 出 願 要 項

京 都 文 教 大 学

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80 番地
TEL 0774-25-2400 FAX 0774-25-2498

Kyoto Bunkyo University

80 Senzoku, Makishima-Cho, Uji-City, Kyoto, 611-0041, JAPAN
TEL 0774-25-2400 FAX 0774-25-2498

I . 科目等履修生制度の概要等

- (1) 本学では、広く社会人の皆様方に生涯学習の機会を提供することを目的に、
「科目等履修生制度」を設けています。
- (2) 本学の科目等履修生制度は、正規の単位を取得するための制度で、聴講生制度ではありません。
- (3) この制度は大学設置基準第 31 条に基づいて行うものです。
- (4) 科目等履修生制度の概要と出願・履修手続は次の通りです。受講を希望される方は、所定の期間内に必要な手続を取ってお申込ください。

Ⅱ. 出願手続

(1) 出願の資格

科目等履修生の受講資格は、「本学において相当の学力があると認めた者」とします。

なお、この制度は単位修得を目的とするもので、聴講制度ではありません。

(2) 履修できる科目および単位数

- ① 1年間で履修できる単位は、16単位までです。
- ② 原則として、演習、実習および実験科目は受講できません。
- ③ 履修できる具体的な科目名等はカリキュラム表を確認してください。
- ④ 一旦履修を許可された受講科目は、変更することができませんので、出願時に十分注意してください。
- ⑤ シラバス（講義概要）を Web にて公開しています。下記の URL よりご覧ください。

<https://unipa.kbu.ac.jp/>

※閲覧手順：

「ゲストユーザー」をクリック → 「シラバス照会」をクリック →
閲覧したい「科目名称」or「教員名称」を入力し「検索」をクリック →
閲覧したい科目をクリック

(3) 時間割

2017年度の時間割は2017年3月13日（月）に発表します（予定）。詳細は本学教務課までお問い合わせください。

(4) 出願時期・期間

春学期出願：2017年3月13日（月）～3月17日（金）〈郵送 必着〉

秋学期出願：2017年7月24日（月）～7月28日（金）〈郵送 必着〉

※春学期出願では秋学期科目をまとめて出願することができます。

（事務取り扱い時間一月～金9：00～17：00、土・日曜、祝日の取り扱いはできません）

(5) 出願受付の部署

教務部教務課（光暁館2階 大学事務局内）

(6) 出願の方法

① 出願書類

- (ア)科目等履修生願書（本学所定用紙）〈写真を含む〉 1 部
(イ)科目等履修生志願理由書（本学所定用紙） 1 部
(ウ)最終学校の卒業証明書または修了証明書 ※1 1 通

日本国籍でない方は上記書類に加えて次の書類を必要とします。（ただし、「永住者」の在留資格を持つ方は除きます。）

- (エ)外国人登録証明書および旅券（パスポート）の写し ※2 各 1 通

※1 継続して履修する場合は、(ウ)の書類提出は免除する。

※2 旅券所持者本人に関する記載のページおよび、願書提出時点で有効な残留資格の記載・スタンプがあるページ等の写し。なお、履修予定科目の開講学期中に現在の在留資格による在留期間が満了するものについてはその出願を認めない。

② 選考料 10,000 円

(ア)選考料は金融機関備えつけの用紙を使用の上、下記銀行に電信扱で振り込んでください。

りそな銀行 京都支店 普通預金口座 口座番号 1973284 口座名義人 学校法人 京都文教学園 理事長 富田謙三

なお、願書に選考料振込領収書（領収書の写しでも可）を添付してください。
領収書の添付がない場合は受け付けません。

(イ)下記の場合は、選考料は不要となります。

- ・前学期から継続して履修する場合
- ・本学卒業生で卒業後 1 年以内の場合

③ その他

提出された書類および納入された選考料は一切返却できません。

(7) 選考の方法

出願書類・面接により総合的に判定します。

※ 前学期から継続して履修される場合、面接は免除されます。

※ 本学卒業生の場合、卒業後 1 年以内であれば面接は免除されます。

(8) 面接実施日時（予定）

春学期 2017 年 3 月 24 日（金）午前 10 時より（詳細は追って通知します）

秋学期 2017 年 8 月 25 日（金）午前 10 時より（詳細は追って通知します）

Ⅲ. 履修許可および履修手続

(1) 履修許可について

書類選考および面接のうえ、履修を許可された方について「**履修許可通知書**」を送付いたします。許可通知を受けた方は、指定の期日までに科目等履修生料等を納付してください。履修許可通知は春学期出願：4 月中旬、秋学期出願：10 月中旬に送付する予定です。授業期間開始後の送付となりますので、履修許可通知書が届くまでの間は仮受講として授業に出席してください。

① 科目等履修生料等の納入

登録料および科目等履修料は、本学より送付する振込用紙を使用の上、所定の期日までに**電信扱い**にて振り込んでください。

・ 登録料 10,000 円（学期または年度を継続して履修される場合は不要）

・ 科目等履修料 1 単位につき 20,000 円

※ 詳細は「履修許可通書」送付時に連絡いたします。

※ 一旦納入された登録料および科目等履修料は一切返還できません。

※ 期日までに科目等履修料等の納付がない場合は、履修を辞退したものとみなします。

Ⅳ. 科目等履修生の学籍および取り扱い

- (1) 所定の期日までに登録料・科目等履修生料等の納付を完了された方は、本学の科目等履修生として「**科目等履修生証**」を交付します。
- (2) 科目等履修生は、許可を受けた授業科目の試験に合格した場合、当該科目の単位を認定します。履修した科目の成績については、**春学期は当該年度の 9 月 1 日以降、秋学期は 3 月 20 日以降に「成績通知書」の送付をもって発表する予定です。**
- (3) 科目等履修生は、正規の学生ではありませんので、本学に 4 年以上在籍し、124 単位以上修得しても、学士の学位は授与できません。ただし、高等専門学校を卒業した方、短期大学を卒業した方、大学で 2 年以上在学し、62 単位以上を修得した方（これらの方を基礎資格を有する者といいます）が、科目等履修生として所定の単位を修得したときは、「学位授与機構」に申請することにより、学士の学位が取得できる道が開かれています。
- (4) 科目等履修生は、「科目等履修生証明書」および「成績証明書」の交付を受けることができますが、「通学証明書」や「在学証明書」、「学生旅客運賃割引証」などの交付を受けることはできません。
- (5) 科目等履修生は、履修期間中「科目等履修生証」をもって本学図書館等施設およびスクールバスの利用ができます。
※ 科目等履修生証を紛失した場合は、再発行 1 回につき 1,000 円がかかります。
- (6) 保険について
学生教育研究災害障害保険（※学研災）への加入が可能です。希望者は、教務課にてご相談ください。

※この保険は、正課中（授業中・研究活動中）、学校行事中、学校施設内にいる間、学校施設内外での課外活動中又は通学中・大学施設間移動中に被ったケガに対し、その治療日数に応じて保険金が支払われる全国規模の補償制度であり、本学科目等履修生も学期はじめに任意で加入できます。

V. その他

(1) 自動車での通学はできません。

(2) **授業時間**は以下のとおりです。

〈第1限〉 9：00～10：30

〈第2限〉 10：40～12：10

〈第3限〉 13：00～14：30

〈第4限〉 14：40～16：10

〈第5限〉 16：20～17：50

〈第6限〉 18：00～19：30

(3) **定期試験時間**は以下のとおりです。通常授業時間と差異がありますのでご注意ください。

〈第1限〉 9：00～10：00

〈第2限〉 10：20～11：20

〈第3限〉 11：40～12：40

〈第4限〉 13：30～14：30

〈第5限〉 14：50～15：50

〈第6限〉 16：10～17：10

〈第7限〉 17：30～18：30

*試験日程は学内掲示等でお知らせします。

(4) 科目等履修生に関する問い合わせ

〒611-0041 京都府宇治市槇島町千足 80 番地

京都文教大学 教務課

TEL 0774-25-2426 (直通)・FAX 0774-25-2498

e-mail educat@po.kbu.ac.jp

出願から科目等履修生として許可されるまでの必要書類等一覧

必要書類および納入金	新規、または前回の科目等履修より1年以上経過した場合	前年度から継続して履修する場合
科目等履修生願書 (写真を含む)	○	○
科目等履修生志望理由書	○	○
最終学校の卒業証明書 または修了証明書	○	×
外国人登録済み証明書 および旅券(パスポート)の写し (*外国人で永住者の在留資格を持たない方)	○	○
選考料(10,000円) ※銀行振り込み	○	○
登録料(10,000円) ※銀行振り込み	○	×
科目等履修料 (1単位当り20,000円) ※銀行振り込み	○	○

カリキュラム表

* このカリキュラムは変更になることがあります。

共通教育科目

科目名	単位数	担当者	開講期	備考
哲学	2	(笹岡健太)	春	
宗教学	2	(朝香知己)	秋	
文学論	2	(千古利恵子)	春	
日本史	2	(松波宏隆)	秋	
世界史	2	(望月直人)	春	
歴史学	2	(坪井剛)	春	
言語学	2	(安部麻矢)	春	
芸術論	2	(今村美邦子)	春	
仏教学	2	平岡聡	秋	
浄土学	2	林雅清	秋	
社会学	2	鵜飼正樹	春	
法学	2	(木俣由美)	秋	
政治学	2	(中島啓勝)	春	
経済学	2	山本真一	春	
民俗学	2	小林康正	春	
国際法	2	(上地瑠美子)	秋	
日本国憲法	2	大西貴之	春	
情報社会論	2	(真下知子)	秋	2018年度より非開講
統計学	2	(金政芸)	春	
宇宙の科学	2	(磯部洋明)	秋	
生命の科学	2	(秋吉博之)	秋	
環境の科学	2	(阪元勇輝)	秋	
数学的思考法	2	(井上康)	秋	
自然科学概論	2	(秋吉博之)	春	
人権論	2	竹口等	春	
言語と社会	2	(森川知史)	春	旧「コミュニケーション論」
倫理学	2	(笹岡健太)	秋	
ジェンダーと社会	2	(島津良子)	春	2018年度より非開講
社会福祉	2	杉原努	春	
自然と人間	2	(林梅)	秋	2018年度より非開講
現代とICT	2	(枝富喜夫)	春	旧「情報機器論」
健康と地域	2	岡本浄実	春	旧「身体調節論」
健康科学	2	岡本浄実	秋	旧「健康の科学」
キャリアと企業文化	2	島本晴一郎	秋	
ボランティア論	2	竹口等	秋	

総合社会学部科目

科目名	単位数	担当者	開講期	備考
総合社会学入門Ⅰ	2	松田凡 ○三浦潔	春	オムニバス
総合社会学入門Ⅱ	2	浅井暢子 奥野克己 柏岡富英 片山明久 島本晴一郎 ○三浦潔	秋	オムニバス
メディア研究概論	2	山崎晶	春	
社会心理学概論	2	川嶋伸佳	秋	
経済学概論	2	野崎浩成	春	
経営学概論	2	東正志	秋	
法学概論	2	大西貴之	春	
社会学概論	2	柏岡富英	秋	
人類学概論	2	安田ひろみ	春	2018年度以降非開講
地域研究概論	2	松田凡	秋	
観光学概論	2	片山明久	春	
地域デザイン概論	2	森正美	秋	
経済統計学基礎	2	(中川満)	秋	
日本経済論	2	島本晴一郎	春	
ミクロ経済学	2	(小田勇一)	春	
マクロ経済学	2	野崎浩成	秋	
簿記論	2	(友田光明)	春	
経営戦略論	2	平塚力	秋	
経営組織論	2	東正志	春	
マーケティング基礎	2	(佐野楓)	秋	
メディアリテラシー	2	山崎晶	秋	
メディア研究法	2	山崎晶	春	
マスメディア論	2	(林法隆)	春	
コミュニケーションの心理	2	浅井暢子	春	
社会心理学研究法	2	浅井暢子	春	
認知科学	2	(服部陽介)	春	
メディア史	2	小林康正	秋	
文化社会学	2	鶴飼正樹	秋	
組織心理学	2	川嶋伸佳	秋	
人間行動学	2	(後安美紀)	秋	
ガバナンス論	2	遠藤央 ○柏岡富英 黒宮一太	秋	オムニバス
日本政治論	2	黒宮一太	秋	
民法総則	2	大西貴之	秋	
行政法Ⅰ	2	(亀田健二)	春	
行政法Ⅱ	2	(亀田健二)	秋	
公共哲学	2	黒宮一太	春	
政策過程論	2	(橋本圭多)	秋	
公共政策	2	山本真一	春	
行政学	2	(橋本圭多)	秋	
現代市民論	2	柏岡富英	秋	
フィールド調査法	2	金基淑	秋	
多文化共生論	2	杉本星子	春	

総合社会学部科目

科目名	単 位 数	担当者	開 講 期	備考
国際協力論	2	島本晴一郎	秋	
グローバリゼーション論	2	遠藤央	春	
文化人類学	2	杉本星子	秋	
比較宗教論	2	安田ひろみ	秋	
アジア地域論	2	潘宏立	春	
欧米地域論	2	古川まゆみ	秋	
日本社会論	2	(濱千代早由美)	春	
日本史総論	2	(堀真人)	秋	
観光文化論	2	橋本和也	春	
観光ビジネス論	2	片山明久	秋	
観光メディア論	2	(田島悠来)	春	
観光地理	2	(辻本千春)	春	
現代都市計画論	2	小林大祐	春	
コミュニティデザイン論	2	小林大祐	秋	
地域デザイン実践論	2	(滋野浩毅)	春	
地域開発論	2	(井口貢)	春	
地域調査法	2	森正美	春	
公共人類学	2	森正美	春	
社会保障論	2	(齊藤拓)	春	
金融論Ⅰ	2	野崎造成	秋	
経済統計学	2	(中川満)	秋	
応用ミクロ経済学	2	山本真一	秋	
公共経済学	2	山本真一	秋	
金融論Ⅱ	2	野崎造成	春	
開発経済論	2	島本晴一郎	春	
国際金融論	2	(佐久間浩司)	秋	
国際経済学	2	(古田学)	秋	
会計論	2	(友田光明)	秋	
企業論	2	三浦潔	秋	
日本の企業経営	2	三浦潔	春	
NPO論	2	平塚力	春	
人材マネジメント論	2	東正志	春	
ソーシャル・ビジネス論	2	平塚力	秋	
会社法	2	(栗山修)	秋	
証券取引と法	2	(栗山修)	秋	
商取引と法	2	(栗山修)	春	
色彩論	2	河本直樹	春	
アートと社会	2	高橋千晶	春	
都市文化論	2	(G・コルナトウスキ)	春	
ネットワーク論	2	(屋萱素子)	春	
家族・ジェンダー論	2	遠藤央	秋	
映像メディア論	2	(増田展大)	秋	
アパレル流行論	2	河本直樹	秋	
消費行動の心理	2	浅井暢子	秋	
犯罪の心理学	2	(中川知宏)	秋	集中講義
心と宗教	2	永澤哲	秋	
ライフスタイル論	2	(森治子)	秋	
食とコミュニケーション	2	奥野克己	秋	
メディアと倫理	2	(日高利泰)	春	

総合社会学部科目

科目名	単 位 数	担当者	開 講 期	備考
ポピュラー文化論	2	鵜飼正樹	春	
文化心理学	2	川嶋伸佳	春	
音楽と癒し	2	馬場雄司	春	
身体の文化論	2	(鈴木康史)	春	
現代史	2	(永野貴子)	春	
国際関係論	2	(林法隆)	春	
紛争と解決	2	(中村友一)	春	
国際法総論	2	(上地瑠美子)	春	
国際コミュニケーション論	2	(林法隆)	春	
財産と法	2	(栗山修)	春	
消費と法	2	大西貴之	秋	
政治学総論	2	(中島啓勝)	秋	
デモクラシー論	2	黒宮一太	秋	
裁判と法	2	(木俣由美)	春	
比較社会論	2	(朝香知己)	秋	
比較思想論	2	黒宮一太	春	
比較政治論	2	(中島啓勝)	春	
地方自治と政策	2	(山谷清秀)	春	
不法行為と法	2	大西貴之	春	
日本地域研究	2	小林康正	春	
東南アジア地域研究	2	馬場雄司	秋	
韓国地域研究	2	安田ひろみ	春	
中東・アフリカ地域研究	2	○奥野克己 松田凡	秋	オムニバス
中国地域研究	2	潘宏立	春	
アメリカ地域研究	2	(山本晃輔)	秋	
南アジア地域研究	2	金基淑	春	
ヨーロッパ地域研究	2	古川まゆみ	春	
環境社会学	2	(一宮真佐子)	秋	
国際教育論	2	(杉本均)	春	
民俗文化論	2	(笹原亮二)	秋	
世界の食と農	2	(原田英美)	春	
西洋史	2	(石井大輔)	秋	
東洋史	2	(松波宏隆)	春	
考古学A	2	(山中章)	春	
考古学B	2	(山中章)	秋	
現代観光論	2	橋本和也	秋	
観光政策論	2	片山明久	秋	
観光デザイン論	2	(森田浩司)	春	
観光コミュニケーション論	2	(田島悠来)	秋	
都市と観光の社会学	2	(遠藤英樹)	秋	
サービス・ホスピタリティ論	2	(廣間準一)	春	
世界遺産論	2	小林大祐	春	
地域資源マネジメント論	2	(宮本茂樹)	春	
アートマネジメント論	2	高橋千晶	秋	
情報化社会と地域デザイン	2	杉本星子	春	
スポーツと地域	2	(祐末ひとみ)	秋	
福祉と地域デザイン	2	馬場雄司	秋	
家族と地域デザイン	2	(酒井久美子)	秋	

総合社会学部科目

科目名	単 位 数	担当者	開 講 期	備考
京都文化論	2	(中村武生)	春	
京都の暮らしと地域デザイン	2	(大島祥子)	春	
京都ツーリズム論	2	(宮本茂樹)	秋	
地域研究関連外国語AⅠ	2	(朱園園)	春	中国語2018年度以降非開講
地域研究関連外国語AⅡ	2	(朱園園)	秋	中国語2018年度以降非開講
地域研究関連外国語BⅠ	2	(平井清実)	春	韓国語2018年度以降非開講
地域研究関連外国語BⅡ	2	(平井清実)	秋	韓国語2018年度以降非開講
地域研究関連外国語C	2	(加藤眞理子)	春	タイ語
実用英語Ⅰ	2	(内田晴子)	春	2018年度以降非開講
実用英語Ⅱ	2	(内田晴子)	秋	2018年度以降非開講
外国語専門書講読Ⅰ	2	柏岡富英 島本晴一郎	春	
外国語専門書講読Ⅱ	2	遠藤央 平塚力	秋	
観光外国語Ⅰ	2	(廣間準一)	春	
観光外国語Ⅱ	2	(廣間準一)	秋	
総合社会学特殊講義A	2	永澤哲	春	
総合社会学特殊講義B	2	河本直樹	秋	
総合社会学とキャリア構築	1	○東正志 川嶋伸佳 小林康正	春	全8回授業
社会に活かす大学での学び	1	東正志 ○鶴飼正樹	春	全8回授業
社会人の教養A	2	○手嶋英貴 (林昌生)	秋	
社会人の教養B	2	○手嶋英貴 (林昌生)	春	
実用簿記論Ⅰ	2	(友田光明)	春	
実用簿記論Ⅱ	2	(友田光明)	秋	
販売実務論	2	三浦潔	秋	
秘書実務論	2	(串田敏美)	秋	
旅行業論Ⅰ(旅行業法)	2	片山明久	春	
旅行業論Ⅱ(旅行業約款)	2	(辻本千春)	春	
旅行実務論Ⅰ(国内旅行実務)	2	片山明久	春	
旅行実務論Ⅱ(海外旅行実務)	2	片山明久	秋	
生涯学習概論	2	(飯田優美)	春	
博物館概論	2	(井上敏)	秋	
博物館経営論	2	(宇治谷恵)	春	
博物館資料論	2	(坂本博司)	秋	
博物館資料保存論	2	(伊達仁美)	春	
博物館展示論	2	(荻野裕子)	秋	
博物館情報・メディア論	2	高橋千晶	秋	
博物館教育論	2	(五月女賢司)	春	
社会調査入門	2	(阿部友香)	春	
社会調査方法論	2	(阿部友香)	秋	
量的調査法	2	(西岡暁廣)	春	

臨床心理学部科目

科目名	単位数	担当者	開講期	備考
人間関係基礎論	2	濱野清志	秋	
臨床コミュニケーション論	2	秋田巖 禹鍾泰 香川克 金山由美 川畑直人 佐藤安子 高石浩一 名取琢自 濱野清志 ○平尾和之 松田真理子 松田美枝 三林真弓 吉村夕里	秋	オムニバス
臨床心理学とキャリア構築	1	川畑直人	春	全8回授業
社会に活かす臨床心理学	1	禹鍾泰	春	全8回授業
社会人基礎演習	2	(大森晋)	秋	
心理学概論	2	○高石浩一 佐藤安子	春	
学習心理学	2	(後藤崇志)	秋	
発達心理学	2	(西元直美)	春	
認知心理学	2	(佐伯恵里奈)	秋	
人格心理学	2	千秋佳世	秋	
教育心理学	2	(松島るみ)	春	
社会心理学	2	(難波久美子)	春	集中講義
神経心理学	2	(工藤基)	春	
心理学研究測定法	2	○香川克 佐藤安子	秋	
臨床心理学概論	2	森谷寛之	秋	
ユング心理学	2	禹鍾泰	春	
家族臨床心理学	2	名取琢自	秋	2018年度非開講（隔年開講）
宗教と臨床心理学	2	(杉岡信行)	秋	
深層臨床心理学	2	名取琢自	春	
精神分析学	2	(鈴木健一)	春	集中講義
学校臨床心理学	2	香川克	春	
青年期心理学	2	香川克	秋	
子ども学	2	三林真弓	秋	
発達臨床学	2	柴田長生	秋	
カウンセリング心理学	2	三林真弓	春	
医療心理学	2	松田真理子	春	
物語と臨床心理学	2	秋田巖	秋	
トランスパーソナル心理学	2	○濱野清志 鏡リュウジ	春	
芸術療法	2	森谷寛之	春	
心理療法学	2	高石浩一	春	
日本の心理療法	2	(真栄城輝明)	秋	集中講義
認知科学と臨床心理学	2	佐藤安子	秋	

臨床心理学部科目

科目名	単位数	担当者	開講期	備考
対人社会心理学	2	川畑直人	秋	2018年度非開講（隔年開講）
産業カウンセリング	2	（森崎美奈子）	春	集中講義
コミュニティ心理学	2	（村本邦子）	秋	集中講義
障害者の心理学	2	金山由美	秋	
臨床心理学と倫理	2	（村本詔司）	秋	集中講義
セクシュアリティと心理臨床	2	（葛西真記子）	秋	集中講義
精神医学A	2	平尾和之	春	
精神医学B	2	平尾和之	秋	
人体の構造と機能及び疾病	2	（黒岡和容）	春	旧「医学一般」
精神保健学A	2	松田美枝	春	
精神保健学B	2	松田美枝	秋	
社会福祉原論B	2	（森合真一）	春	
地域福祉論A	2	（各務勝博）	春	
地域福祉論B	2	（各務勝博）	秋	
社会保障論A	2	（齊藤拓）	秋	
社会保障論B	2	（齊藤拓）	春	
公的扶助論	2	（井上京子）	春	
福祉行財政と福祉計画	2	（各務勝博）	秋	
保健医療サービス	2	（森朋子）	秋	旧「保健医療論」
権利擁護と成年後見制度	2	（森朋子）	春	
障害者福祉論	2	（佐藤貴宣）	春	
精神科リハビリテーション学A	2	吉村夕里	春	
精神科リハビリテーション学B	2	吉村夕里	秋	
精神保健福祉論A	2	杉原努	春	
精神保健福祉論B	2	杉原努	秋	
精神保健福祉論C	2	（菊池彰倫）	春	
精神保健福祉援助技術総論A	2	吉村夕里	春	
精神保健福祉援助技術総論B	2	吉村夕里	秋	
精神保健福祉援助技術各論A	2	（藤井弘）	春	
精神保健福祉援助技術各論B	2	（藤井弘）	秋	
教育福祉心理学概論	2	大前暁政 ○柴田長生 杉原努 寺田博幸 中島千恵 橋本祥夫 松井愛奈	春	オムニバス
心身の発達と学習過程	2	（松島るみ）	秋	集中講義

教職に関する科目

科目名	単 位 数	担当者	開 講 期	備考
教職概論	2	大西巧	春	
教育学概論	2	大西巧	秋	
教育史	2	大西巧	秋	
教育社会学	2	大西巧	春	
教育法規	2	(中谷静夫)	春	
同和教育論	2	竹口等	秋	
カリキュラム論	2	(田中亨胤)	秋	
社会科教育法	2	澤達大	秋	
公民科教育法	2	竹口等	秋	
社会科・公民科授業実践論	2	竹口等	秋	
授業研究(社会・公民)	2	澤達大	春	
道德教育指導論	2	(井西弘樹)	秋	
教育方法・技術論	2	(真下知子)	春	
生徒・進路指導論	2	澤達大	秋	
教育相談	2	(西村佐彩子)	春	

※上記の教職に関する科目は、教免(中一社会・高一公民)取得の為の科目です。
 ※原則として教免取得を目指す人が受講できます。